

「子宮体癌と卵巣癌の重複癌における臨床的・病理学的特徴に関する

後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015年1月1日から2024年12月31までの間に、埼玉医科大学総合医療センター産婦人科において初回治療（手術等）を受け、病理組織学的に「子宮体癌」または「卵巣癌」と診断されたすべての患者さん（重複癌と診断された方を含みます）。

2. 研究の目的

子宮体癌と卵巣癌が同時に見つかる「重複癌（SEOC）」は比較的稀な病態であり、その診断や治療方針には未だ統一された見解がありません。本研究では、当院で経験した SEOC 症例の臨床経過や病理学的特徴（組織型や進行期など）を詳しく調べることで、SEOC の実態を明らかにし、将来の患者さんの診療や治療方針の決定に役立てることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年2月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では、診療録（カルテ）より、患者背景（年齢、妊娠分娩歴、既往歴、家族歴、BMI など）、治療前の検査データ（血液検査、腫瘍マーカー、画像検査所見など）、病理学的所見（組織型、進行期、免疫染色結果など）、治療内容（手術術式、抗がん剤治療の内容など）、および治療

後の予後（経過、再発の有無、生存期間）に関する情報を抽出し、解析に使用させていただきます。なお、本研究のために新たな試料（血液や組織など）を採取することなく、手術等の際に診断のために採取された過去の病理標本の記録を参照するのみです。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である長井 智則が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

なお、この研究で収集した診療情報は、この研究に関連した将来計画される研究に利用（二次利用）される可能性があります。

2. 試料・情報の取得方法

子宮体癌、卵巣癌患者さんの診療記録および病理診断報告書を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 魚谷 隆弘

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 高井 泰

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 鮫島 浩輝

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 木崎 雄一朗

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 品川 裕伯

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター・母体胎児部門 中村 永信

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター・母体胎児部門 堀井 翼

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはできません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9:00～17:00）

○研究課題名：子宮体癌と卵巣癌の重複癌における臨床的・病理学的特徴に関する後方視的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則